

長 坂

玄海に 波音高く

平戸市立生月中学校
学校だより 第10号
(令和5年 9月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏めかし』

アフターコロナの「実りの秋」を迎えて ～ 令和5年度 第2学期のスタート ～

42日間の夏休みが終わり、第2学期がスタートしました。

2学期は、「実りの秋」という言葉のとおり、学習活動に最適の時期であり、日々の授業や係活動、学校行事、部活動などの諸活動を通じて、子ども達が心身ともに大きく成長する時と思います。

今学期も、中学校では、「出番・役割・承認」という開発的生徒指導を重視し、生徒一人一人の頑張りに寄り添い、その成長を支援していきます。子ども達が『自主・自立・自律』の精神と『感謝と思いやりの心』を大切に、「自ら考え、正しく判断し、進んで行動する」ことを実践することで、一人一人がそれぞれの目標の実現に向かって、大きく成長してくれることを期待しています。

保護者や地域の皆様には、本校の教育活動へのご理解とご協力・ご支援を、よろしくお願い致します。

生徒有志によるボランティア活動 ～「七夕フェスティバル」・「子ども縁日」に協力しました～

7月15日(土)、生月町中央公民館で、毎年恒例の公民館主催、読み聞かせの会「紙風船」共催の『七夕フェスティバル ～親と子の集い～』が開催されました。今年度も、運営ボランティアとして、男女あわせて12名の生徒が応募してくれました。当日は、絵本の読み聞かせやブラックシアター、七夕の短冊の飾りつけなどを行うとともに、今年度は、全体の進行係も引き受け、イベントの成功に大いに貢献しました。また、8月には、生月地区まち協主催の「子ども縁日」にも、本校の女子生徒がボランティアとして協力したことを、関係者の方からお聞きしました。一生懸命活動する中学生の様子を見て、とても頼もしく、うれしく感じたとのことでした。

本校では、生徒会による全校ボランティアも行われていますが、こうした個人による自主的な取組にも多くの生徒が参加してくれていることを大変うれしく思います。また、館浦地区の子ども達は、地域の伝統芸能である「須古踊り」の継承にも貢献しています。参加した生徒の皆さん、本当にありがとう。

【ボランティア募集】

生月地区まち協からののお知らせです。11月11日(土)に、「海と灯台プロジェクト」というイベントが開催され、市外からの来場者に生月の自然や歴史、文化を紹介するボランティアガイドを中学生から募集するそうです。近日中に募集案内が届くようですので、興味がある人は、ぜひ、応募してください。



生月中から平戸市・長崎県の代表として出場！ ～ 県・九州・全国中総体、空手道の全国大会 ～

7月22日(土)～24日(月)、県中総体が開催されました。生月中からは、団体の部で、空手道部(男女)、剣道部(男子)、女子バスケットボール部が出場し、個人の部では、空手道部の岳田唯花さん・橋岡楓くん・増山美羽さん・森永晃明くん・岡山斗海くん、剣道部の大浦慶大くんが出場しました。また、市のクラブチームからは、相撲で田淵龍馬くんが団体戦と個人戦に、空手道で川上悠菜さん・渡口陽凜さんが団体戦に出場しました。

当日は、各競技とも、平戸市の代表として、正々堂々、各自、持てる力を十分に発揮し、精一杯の競技を見せてくれました。今回参加した1・2年生の皆さんには、来年の大会での活躍を期待しています。

夏休み中に行われた九州大会には、中学校からは、空手道の男子団体と女子団体が、クラブチームからは、相撲で田淵龍馬くん(団体・個人)・光武優心くん(団体)が、空手道で川上悠菜さん・渡口陽凜さん(団体)が出場しました。また、中総体の全国大会には、相撲の田淵龍馬くんが出場しました。空手道部は、空手道の全国大会に参加しています。

九州・全国大会は、残念ながら上位入賞はなりませんでした。それぞれ全力で競技に参加し、持てる力をいかに発揮してくれました。選手の皆さん、お疲れさまでした。

